



王一だより

令和5年6月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本 直美

教育目標 ㊦ 仲良く助け合う子 ㊧ 身体をきたえ元気な子 ㊨ よく考え最後までやりぬく子 ㊩ 親切で礼儀正しい

体験活動と子供の成長

校長 岡本 直美

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」と言われます。

これは、中国の思想家・儒学者『荀子』の「聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは見ることには及ばない。また見ることは理解することに及ばない。しかし理解することはそれを実践することには及ばない。したがって学問は実践の段階にまで至って終わるのである」です。〔『中国名言名句の辞典』小学館〕

体験活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。体験にはさまざまなものがあります。自然体験、文化芸術体験、運動体験、奉仕活動体験など。学校生活の中にも日々いろいろな体験活動があります。休み時間に友達と遊ぶこと、掃除の時間に教室やいろいろな場所を綺麗にすること。まさに毎日が体験活動であり、その中で子供たちは人間として必要なことを学び成長していきます。今、求められているのは学んだことをもとに、自分で考え、創造し、協働し、実践（行動）していく力です。『体験したことは身に付く』と言われます。実践（行動）が失敗することもあるでしょう。失敗を恐れるより、まずは実践（行動）してみることが大切です。自分で経験したことは必ず身に付きます。特に失敗した経験は覚えています。「なんでだろう。」と考え、実践（行動）し改善していくことで、より深い力となっていきます。

私たち教職員は、体験活動が子供たちの成長に大きな役割を果たしていることを念頭に置き、今後もいろいろな体験活動を通して子供たちの実践（行動）力を育てていきたいと考えています。

5・6年生 戦国運動会の様子 5月26日（金）

兵糧入れ



大俵転がし



チャンバラ合戦



3チームに分かれ、戦国時代をモチーフにした3種目を競い合いました。子供たちは、チームの勝利を目指して作戦を立て、一致団結して競技に取り組んでいました。感想では、「楽しかった。またやりたい。」「他学年の人と話ができてうれしかった。」「運動は得意ではないけれど、やってみたら楽しかった。」など。運動体験を通して、チャレンジする気持ちや協働する姿と共に、たくさんの素敵な笑顔が見られた一日でした。チャンバラ合戦には、教職員チームも参加していました。

お詫び

この度の給食試食会では、169名の方にお申し込みをいただきありがとうございました。120名まで定員を増枠しましたが、49名の方のご希望には添うことができませんでした。申し訳ございませんでした。